

ネットワーク保存の設定

社長の猫の手はネットワーク環境での利用が可能です。

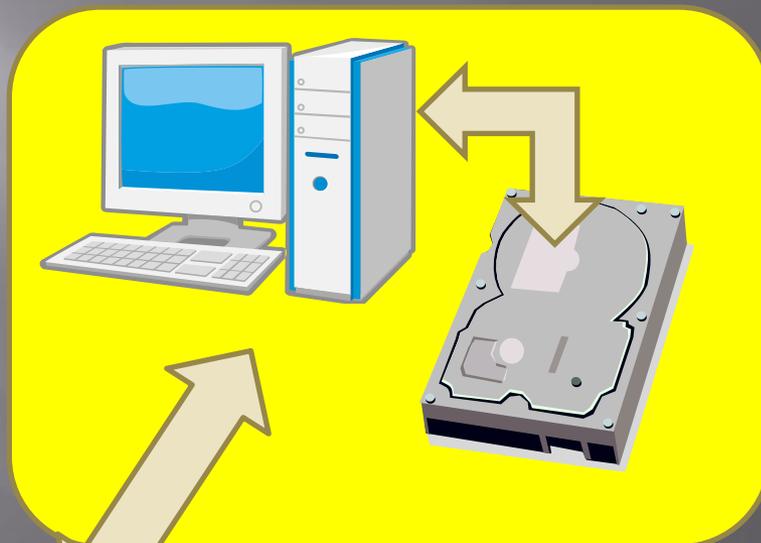
ここではその設定方法について解説します。

ネットワーク環境での使用とは？

パソコンA



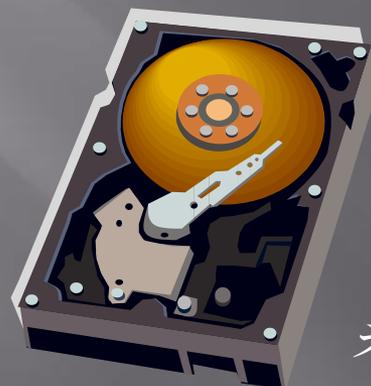
パソコンB



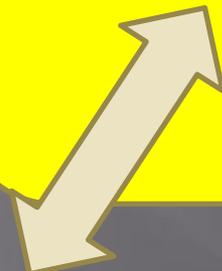
パソコンC



パソコンの Cドライブ



ネットワーク上のハードディスク



事務所内のすべてのパソコンでデータを共有し、伝票の作成、再編集が可能です。

- ▣ 通常、パソコンを単独の状況で利用した場合、作成したデータはそのパソコンのCドライブ上に保存されます。
- ▣ ネットワーク環境で使用する場合、ネットワーク上で動作するネットワークハードディスクを新たに設けます。
- ▣ ネットワーク環境で使用する為には動作環境でネットワークのハードディスクの場所を指定する必要があります。
- ▣ 事務所内のそれぞれのパソコンでネットワーク環境での使用の設定が完了すると、事務所内すべてのパソコンでデータを共有し、伝票の作成、再編集が可能となります。

この場合、事務所内のパソコンの数だけ、社長の猫の手は購入が必要？

- ご安心ください。社長の猫の手は1本だけの購入で事務所内のすべてのパソコンにインストールしてご利用いただくことができます。
- なお、インストールするパソコンの台数に上限は有りません。同じ事務所内にあるパソコンであれば何台でもインストールが可能です。
- ネットワークのハードディスクについては市販のネットワーク環境で使用できるハードディスクなどがお勧めです。もし、お持ちでない場合、パソコン上の任意の場所を代用することも可能です。各パソコンからアクセスが可能な場所であれば問題ありません。
ただし、常時電源がONになっている必要があります。

それでは具体的にネットワーク環境での設定方法について解説します。

ネットワーク環境設定方法

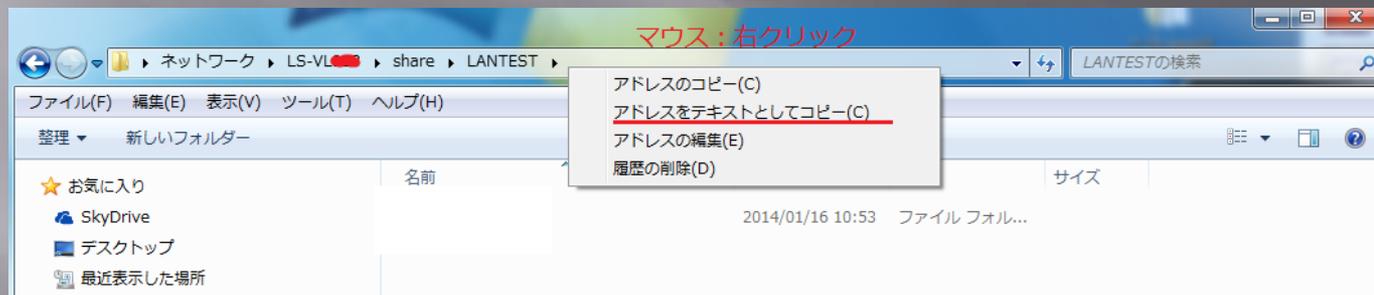
□ ネットワークハードディスクの例

The screenshot shows the Buffalo website's product page for the LS-VL series network HDD. The page features the Buffalo logo at the top left, navigation links for shopping, products, information, downloads, and support, and a breadcrumb trail: HOME > 製品情報 > HDD総合情報 > ネットワーク対応HDD (NAS) > LS-VLシリーズ. The main content area highlights the product's speed, stating it is approximately 1.8 times faster than USB HDD and can be used conveniently from outside the home. It identifies the product as a LinkStation network HDD high-speed model in the LS-VL series. Key features listed include high-speed CPU processing, web access support, and compatibility with iPhone/iPad. A product image of the black HDD is shown on the right. At the bottom, there are logos for Windows 8 and Windows RT compatibility, Link Station branding, and various certification logos including SuperSpeed LAN, DLP NAS Certified, and others.

弊社で利用しているのはバッファローのLS-VLシリーズというものです。
動作速度がある程度早いものがお勧めです。

ネットワークアドレスの取得

- ネットワークディスクのインストールを事務所内のパソコンにインストールします。インストール方法は付属の説明書をご確認ください。
- ディスクトップのショートカットをクリックします。



上記の例では元々あるホルダ（share）の中にLANTESTというホルダを新たに作成し、この中にネットワークデータを保存することとします。
アドレスバーをマウスで右クリックして、アドレスをテキストとしてコピー（C）を選択します。

ネットワークアドレス： ¥¥LS-VL???¥share¥LANTEST

メインページの動作環境を開きます

2 ネットワーク

- 各種の伝票を保存する場合、ネットワーク上の所定のホルダを指定することが可能です。
ネットワーク上のホルダを使用する場合、下のチェックボックスにチェックを入れ保存先のパスを記入して下さい。

ネットワーク上のホルダを使用する

保存先ホルダへのパス		
パソコン名		共有ホルダ名
¥ ¥	¥	

(例) ¥ ¥ パソコン名 ¥ 共有ホルダ名 (¥ ¥ INTEL P4 ¥ Shared Docs) または (¥ ¥ △ □ - PC ¥ Public)

保存ホルダの作成
保存ホルダの解除

- 保存先ホルダへのパスは、間違いの無いよう指定して下さい。
無効なパスを指定した場合、あるいは指定したパスが有効でない場合、(該当するパソコンが停止状態等)エラーが発生します。

社長の猫の手を起動し、メインページの動作環境を開き、
2. ネットワークを確認します。

ネットワークアドレスの書き込み

Microsoft Excel - メインページ [互換モード]
D41 ¥¥LS-VL...¥share¥LANTEST

マウス: 右クリック 貼り付け

2 ネットワーク

- 各種の伝票を保存する場合、ネットワーク上の所定のホルダを指定することが可能です。
ネットワーク上のホルダを使用する場合、下のチェックボックスにチェックを入れ保存先のパスを記入して下さい。

ネットワーク上のホルダを使用する

保存先ホルダへのパス	
パソコン名	共有ホルダ名
¥ ¥ ¥¥LS-VL...¥share¥LANTEST	¥

(例) ¥¥パソコン名¥共有ホルダ名 (¥¥INTELP4¥SharedDocs) または (¥¥△□-PC¥Public)

保存ホルダの作成
保存ホルダの解除

- 保存先ホルダへのパスは、間違いの無いよう指定して下さい。
無効なパスを指定した場合、あるいは指定したパスが有効でない場合、(該当するパソコンが停止状態等) エラーが発生します。

保存先ホルダへのパスのパソコン名を記入するセルを先に選択し、数式バーでマウスを右クリックし、先ほど読み取ったアドレスを貼り付けします。

保存ホルダを作成します

2 ネットワーク

- 各種の伝票を保存する場合、ネットワーク上の所定のホルダを指定することが可能です。
ネットワーク上のホルダを使用する場合、下のチェックボックスにチェックを入れ保存先のパスを記入して下さい。

ネットワーク上のホルダを使用する

保存先ホルダへのパス	
パソコン名	共有ホルダ名
¥ ¥ LS-VL???	¥ share¥LANTEST

(例) ¥¥パソコン名¥共有ホルダ名 (¥¥INTELP4¥SharedDocs) または (¥¥△□-PC¥Public)

保存ホルダの作成
保存ホルダの解除

- 保存先ホルダへのパスは、間違いの無いよう指定して下さい。
無効なパスを指定した場合、あるいは指定したパスが有効でない場合、(該当するパソコンが停止状態等)エラーが発生します。

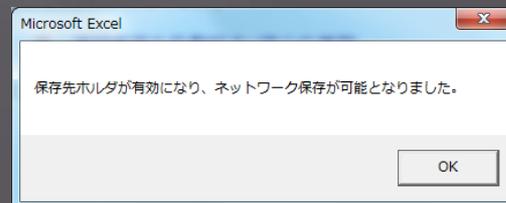
パソコン名に LS-VL??? を指定し、共有ホルダ名に share¥LANTEST を記入します。(¥記号に注意して上記のように指定します)

ネットワーク上のホルダを使用する に を入れます。

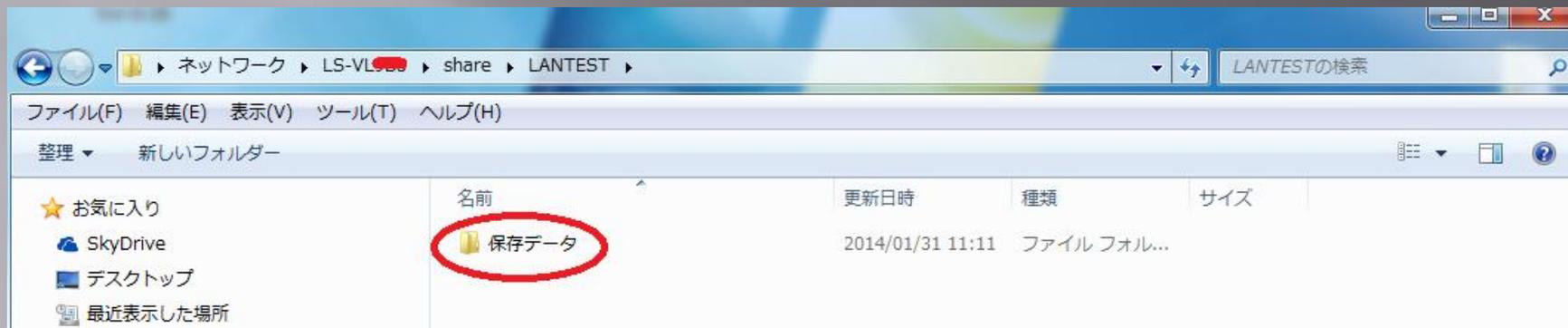
保存ホルダの作成を押します。

右図のようなメッセージが表示されたら成功です。

最後に、設定を保存してメインページに戻る を押します。



作成されたネットワーク上のホルダを確認します



先ほどと同様にデスクトップのショートカットからネットワーク上に作成した保存ホルダを確認します。

保存データ というホルダが指定した場所に作成されたことが確認できます。

データの保存先が追加されました

- 以上の操作でデータの保存先が通常のCドライブ内に加え、ネットワーク上にも保存されることとなります。
- 以降、通常の保存ボタンの操作でローカルディスク（Cドライブ）とネットワークディスクの両方に自動的に保存されます。
- このことにより、事務所内のAさんが作った見積書をBさんが修正し、また最後に工事完了後に経理担当のCさんが請求書を発行するということが可能となります。
- なお、ネットワークのハードディスクは後書き優先です。それぞれのパソコンのCドライブには自分の編集した結果が保存されますが、ネットワーク上のデータは最後に編集された記録が残ります。
- 以上でネットワークでの使用方法についての解説を終了します。